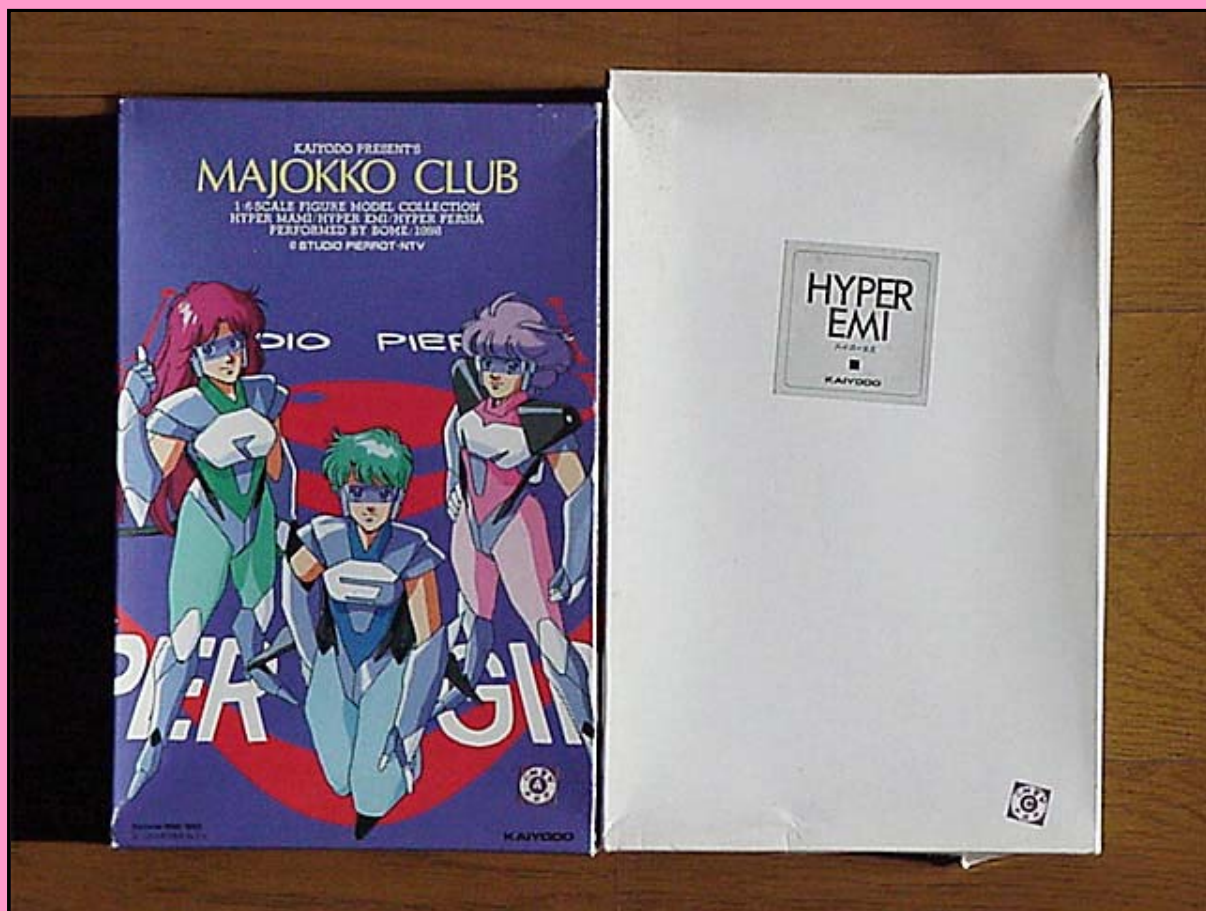


第13回 1/6ハイパーペルシャ&ハイパーエミ(海洋堂)の巻

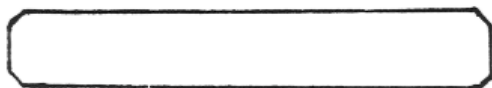


#緑の日だし一番好きな緑髪晒せよというツイートを見かけ、コンテンツ更新を思い出しました(平伏)。「魔女っ子」の始祖はサリーちゃんというのは日本人の常識(但し初めて番組名に冠されたのはメグちゃん)となっておりますが、今回のキットに表記があるMAJOKKO CLUB、漢字では「魔女っ子倶楽部」となります。なお、今回キット化されている人達について「魔女っ娘」と記述することが有りますが、「魔女っ子」と「魔女っ娘」のニュアンスの違いを限られた字数で伝えることは難しいので割愛します。これらのキットの元ネタである「魔女っ子クラブ四人組 A空間からのエイリアンX」というのは歴代の「魔女っ娘」達(向かって左のハイパーペルシャの箱をご覧下さい、一人足りないような気もしますが大した問題は無いです)が共演する、「ライダー大集合」のノリで作られたOVA(オリジナルビデオアニメーション)です(証拠画像)。「ハイパー〇〇」というのは、この作品後半において魔法の力で変身しエイリアン?と戦う時のバトルスーツ姿を指します。

自作パーツ

★顔面透明バイザーは、下現寸図を参考に、塩ビ板にて自作してください 色はクリアブルーです。

★ハイパーペルシャのしっぽは、2~3ミリのアルミ線に、スペアのライトセーバーをつけて作ります。



キットデータ

メーカー	海洋堂
スケール	1/6
材質	レジンキャスト
当時価格	ペルシャ 6800円(税抜) エミ 6000円(税抜)

本来は女兒向けテレビ番組のキャラクターが(通常のコスチューム姿ならまだしも)何故バトルスーツ姿までキット化されたのか(しかもスケール違いのキットが他メーカーからもリリース)、とにかく夢のような時代でした。キットの仕様はどちらもキャスト製の固定ポーズ、大きく重いので軸打ち必須です(上の画像がクリッカブルマップになっておりますので、興味のある方はご覧下さい)。しかも抜きの都合からか四肢の途中で深く分割されています(かつては普通のことでした)。キャストオフなどありません!!バトルスーツのバイザーはお約束の自作用型紙が用意されています。透明で塗装も難しいので少なくない人がバイザーを省略したのではないかと推察されます。両者の箱が異なることから見て、イラスト箱を作り起こす程度に人気の商品だったことが窺えます。

でも冷静に考えると、「バトルスーツそんなに欲しいか?」とも思います(オークションでかなり安価だったとはいえ2体も買っている自分が言うのも何ですが)。できることなら「A空間からのエイリアンX」アイキャッチ(上でリンクした証拠画像にも掲載されています)の、ステージ衣装の魔女っ娘達をリクエストしたいです。しまった、もう夢のような時代は終わってる...